

五在所の森

自然か人造か? 人像描画岩
巨岩と貫いたアガシ
「女の執念、岩とも通ず」
看板

佐賀橘川あたりから見える
五在所森の姿は特に雄麗!!

太平洋見える。
(佐賀市野瀬)

市野瀬

木もれ日と反射して
キラキラと光輝く

照葉樹林のトンネルを歩く

ウネにある石標は
国有林境界標

ニ又に分かれるが、
すぐに一本に戻るので安い。

- 登山口までは林道を約300m。
- 登山口より頂上まで約1,500m。
- 頂上より祠～90m
- " 哨戒所跡～250m

いきなり急分配

炭素固定の看板

登山口
觀峰看板

峰上
(290m)

2011
國際森林年

四万十森林管理署

610.1

山谷大 石鎚神社

五 在所の森

窪川金上野と佐賀市野瀬にそびえる標高658mの山。古来より霊山・信仰の山として人々に親しまれ崇められています。古くは清浄無垢の山で不浄の者の入山は禁じられる程の霊峰であり、この為五在所森〜大谷山一帯は山伏や弘法師にまつる伝説や不思議な物語が数多く残されています。その一つに今からおよそ300年前、「役の小角」という行者がこの山で国家鎮護の護摩修法を執り行った際、五所の瑞鳥が無数に藤井森(五社)に現れた。

弘法大師はこの五羽の瑞鳥を仁井田大明神の化身と崇め、一つの社宮であったものを五つに分け示し、神仙混浴の「藤井山 五智徳院 福田満寺」を創建し、八十八箇所のお所とした」と伝えられています。(三十七番札所のルーツは五社であった)

金上野のせいぞろとまやさんの
二人の力自慢が、力比べを兼ねて
担ぎ上げたと人々に知られている。
この手巾鉢を力ずく担ぎ上げた者の人の
足月夜の伝説双玉には おやれいります。

また、山頂からは五つの在所(人里)が見渡せる峰であることから「五在所の峰」ともいわれています。“
このように時代は変遷しても、五在所の森は「霊峰」として
今でも変わることなく窪川の里を護り続けています。
(『林一将記「五在所の森とその物語」より』)

瑞鳥
でいことの前兆に
る鳥。
や 鳳凰など。
所伝説の五鳥は
日鷲、雉子、鵄、鶴、鳥。 鶴といわれる。

カロウト越山

下りは落葉で滑る
とザハの負担も大きい
小真重に

登山コース
イメージ図

麓から見
木立ちのあたりの
あるあたりが
消滅跡
窪川～大井野あたり
より

森林には心身のリフレッシュと
健康増進効果があります🌿🌿

モリグーはスパッツをはく